

○オープンイノベーションセンター（ACE）シーズ・ニーズマッチング交流会の開催による産学官連携の深化

12月2日、札幌市のエア・ウォーターの森において「ACEシーズ・ニーズマッチング交流会」を開催した。本交流会は、3大学の最新研究成果と、北海道内企業・自治体が抱える課題とのマッチングを目的として企画したもので、80名を超える参加があった。研究プレゼンテーションでは、12テーマについて各2分間のショートプレゼンを行い、その後のポスターセッションでは研究者と参加者との間で活発な意見交換が行われた。

また、帯広畜産大学の次世代農畜産技術実証センターや、北見工業大学の4研究推進センターから活動紹介を行い、研究基盤の広がりを示した。基調講演では、(株)浅井農園・浅井雄一郎社長より先端農業と地域イノベーションについて講演があり、地域資源活用による持続可能な農業モデルに高い関心が寄せられた。

本交流会は、研究シーズの可視化と新たな連携創出に資する、有意義な機会となった。



▲ACEシーズ・ニーズマッチング交流会の模様

○ACEにおける札幌サテライトを活用した産学官金連携の推進

ACEでは、札幌サテライト（エア・ウォーターの森）を拠点として、産学官金連携の深化と情報発信機能の強化を図っている。令和7年度は、自治体との連携に関する意見交換会の開催や、フォーラム・交流事業の実施等、エア・ウォーター北海道(株)との包括連携協定を基盤に多様なステークホルダーとの接点を創出した。

また、学術コンサルティング制度により、2件の産学連携プロジェクトを展開した。地球環境カードゲーム「マイ・アース北海道版」の制作では、3大学の教員及び学生が専門的知見に基づく監修を行い、地域環境を題材とした教育コンテンツの開発に貢献した。さらに、陸上養殖による高品質サーモンのブランド戦略についても、学術的知見を踏まえた調査・検討により、地域資源を活用した新たな産業創出に寄与している。これらの取組が示すように、札幌サテライトは、研究成果を社会実装へとつなぐ実践拠点として機能している。



▲「マイ・アース」作成に関するワークショップの模様